令和７年度　第Ⅱ期　実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会
薬学生受入対策委員会

①　感想

- 積極的に学ぶ姿勢がみられたので、こちらもスムーズに実習を進めることができた。実習生を受けることで自身の研鑽にもつながった。

- 知識面での教育はよくされていると思うが、技術面での教育はかなり不足していると感じる。（水剤・散剤の計量などもっと多く体験させてから実習の場に送り出してほしい）

- 実習生は学ぶ姿勢は真摯で丁寧でした。「今日の治療薬」では薬局で取り扱っているものにラインを２週くらいまで線を引くとして、その前後の薬も先ずは確認することを指示しました。毎回実習生に指示を出しますが積み上げる内容なので途中でやめてしまう学生はほとんどですが、すべてのものを見ながら終了させました。この間、その必要性、目的なども話し、小さなことの積み上げを伝えています。成長を感じたと実習生自身が日報にも記載していました。大学教員も早い時期に一度訪問していただき、学生の状況など把握されていました。

- 今回の薬学実務実習では、実習生が非常に意欲的に取り組んでくれました。初日から服薬指導を経験し、患者さんとのコミュニケーションや服薬状況の確認などにも積極的な姿勢が見られました。薬局スタッフも一丸となって実習サポートし、実習生にとって実践的な学びの機会を提供できたのではないかと感じています。

- 素直で真面目に取り組んでくれる学生だったので、他薬局での実習や在宅、往診に同行する等様々な体験をさせることができました。初期の段階から服薬指導も積極的にしてもらい、初めは緊張や不安な表情で患者さんに接していましたが、徐々に成長する姿がみられ、最終的には自信をもって指導できていたので良い実務実習ができたかと思います。

- 基礎知識がしっかりしている学生でした。特に薬理の知識がすばらしく、実習初期から応用的な学習を行うことが出来ました。対患者については、とまどう事もありましたが、実習終盤ではじっかりと対話が出来ており、成長を感じることが出来ました。

- 実習に対し前向きで積極的な学生だったので、非常にやりやすかったと思います。指導者以外の薬剤師が積極的に関わってくれたので、それも良かったです。

- 指導薬剤師の方々との交流の場で、初日から投薬していないという意見を伺い、今回は初日からの数日は過去処方によりシュミレーション、病態や薬剤の説明、服薬指導見学、翌週から患者への服薬指導という形で方針を変えた。今回の実習生は、コミュニケーション能力が高く、初期からレベルの高い服薬指導が行えていた。しかし経験を積むことでより一層、進歩が見られた。今まで経験した学生さんもそうだが、個人差はあるが、一生懸命励んでおり、成長を見られると同時に、自分への戒めにもなる。基幹薬局は薬剤師が私を含め４名いるのだが、指導に対しては消極的で（実習生から質問に対しては親身に対応してくれていたが）、指導薬剤師の負担が大きく、年々大変になってくるのを感じる。

- 本人は何に対しても積極手に取り組み、自ら学んだり自分で考えて行動することができた。大きなトラブルもなく無事に終了できた。昨年同様、週ごとの担当制とし実習のマニュアルに沿った内容で進めることができたのでやりやすかった。一部のスタッフの負担が大きくならずに済んだ。

- 施設への同伴、訪問医との連携、個人在宅など対人業務を多く経験することができた。また、輸液やＰＣＡについて関わることができた。学生の人柄がよく、スムーズに実習を進めることができた。学生に参加意志はあったものの、交通手段の関係で環境科学検査センターへ行けなかったことが残念であった。

- 実習態度も良好で、積極的な姿勢の見える学生でした。欠席もなく問題なく実習を終了することが出来ました。

- 薬局の地域での関り方をテーマとして教育を実施することができた。在宅、担当者会議、地域イベントの開催の他、無菌調剤を経験させることができた。

- とても素直で積極的に学ぼうとする学生だったので実習もやりやすかった。コミュニケーション能力も高かったので、患者さんとのやりとりもスムーズだった。

② 問題点と今後の課題

- 総合病院前の薬局ではあるが、携わる・投薬する代表的疾患の数に偏りがあった。

- 年々、基幹薬局の数が減少していると感じている。実務実習を行っている薬局の評価があまりにも少なすぎる。薬局の機能を評価にもっと組みこまれるべきだと思う。

- 実習施設により、実習の時間にバラツキがあることが気になります。

- 基本的な８疾患については概ね実施できたものの、薬局ごとに来局される患者層や季節によって処方内容に違いがあるため、得られる経験に一定の偏りが生じる可能性があると感じました。特に、自薬局のみでの実習では処方パターンが限定されるため、服薬指導の内容がやや画一的になってしまう傾向があります。また、今回は地域活動が行われなかったため、実習生が地域活動に参加する機会がなかった点も今後の課題のひとつと考えています。

- 診療所の門前薬局であるため、服薬指導は多くしてもらいましたが、８疾患に大きく偏りが出てしまいました。またＯＴＣ医薬品もいくつかは置いてあるのですが、ドラックストアほどの品揃えがないので、実習期間中にセルフメディケーション支援を実際に体験してもらうことができませんでした。

- 良い点は、服薬指導の比重が高く、同患者さんに２回目、３回目と経験が出来た。問題点は、計数調剤や服薬指導以外の部分をもう少し、掘り下げて行うべきだったと思う。例えば、監査、発注、患者への提案（一包化や後発医薬品への代替）など、座学と数回実践を行ったのみになっている。自分で考えて出来るレベルまで持っていかせたかった。実習生にその能力はあったと思う。

- 疑義照会の事例などが収集不足であった。また様々な項目の資料の準備が不足気味だった。大学から記録のｗｅｂシステムの案内が来なかったが直前まで待ってしまった。薬剤師の研修の交通手段に悩んだ。

- 薬局の施設基準や処方箋の内容によって偏りがでてしまう。

- 今回は県薬剤師会開催の集合研修に２日間（午後）、学校薬剤師業務の実習で２日間（終日）、エリア内の協力薬局での実習を１薬局、３日間（終日）実施しました。今回は自家用車で行ってもらいましたが、移動手段の限られる実習生では、実習内容が制限されてしまう場合があると思います。

- 学生の習熟度によっては教えてもついてこれなさそうだなと感じることがあったので、関連する項目を復習してもらうなどした。足りていないポイントを適切に明示してあげられればと考える

- エリアによって実習生が少ない。

③　問題点・課題の改善点

- 薬局内でも指導薬剤師のみでなく、薬剤師全員に実習の進捗状況を周知させ、薬局全体でサポートし、偏りが出ないような体制を整える。

- ＸＥＲＯＸ実務実習管理システムを使用しているにも関わらず、大学によっては更に別の評価表などの記入もあり、煩雑と感じる。

- 今回の学生はメンタルなど問題なかったですが、やはり大学教員との面談は早い時期にお願いしたいと思います。

- 今後は、処方内容の偏りを解消するために、グループ薬局や協力薬局と連携し、より多様な疾患や処方に対応できる実習体制の整備が必要だと考えます。また、地域活動についても季節や地域により実施状況に差があるため、地域外での活動にも参加できる機会を設けていただけると、より充実した実習につながると感じています。

- 学生によると思いますが、実務実習を行うにあたって大学で学んだ知識が身に着いていない部分がみられたので、もう少し事前学習の徹底をしてもらえれば実践にスムーズに入れたかと思います。

- 集合研修に対して、とても重宝しています。実習生からの評判も良いです。基幹薬局で経験できない部分を網羅してもらえるので今後も継続していただきたいです。山梨県薬剤師会の研修も、貴重な経験といっていました。継続を望みます。学生より、集合研修が充実していて良かった。特にＯＴＣ研修が良かった。学生同士のコミュニケーションもとれて良かった。県の研修やモバイルファーマシーを見学てきて良かった。また行政での薬剤師の役割が知れて良かったとの事。大学側から実習報告書へのコメントが一度もなかった。定期的にチェックしているか、教授訪問時に確認したところ、見ているとは言っていた。他の大学の先生は毎日コメントをくれていただけに、少し寂しい感じがしました。

- 日ごろからスタッフで協力して事例を収集しておく、マニュアルにはない最近の話題についても資料をまとめておく。（今回は選定療養など）不明な点はあらかじめ大学に確認しておく。研修の交通手段については、実習生同士の乗り合いが可能であれば早めに把握できた方が良い。

- 偏りについて十分でないところは、可能な範囲で他薬局へお願いする。

- ５疾病６事業やポリファーマシーなど今薬剤師になってどういう役割を意識していくのかあいまいな学習させられているなと感じる。社会の問題と資格者の効力や責任を結びつけ目標をたてて学習させるべきと考える。

- 今回は毎月学校の先生の訪問があり、実習状況のヒアリングがあった。きめ細かく学生を見ていると感じた。

④　協力薬局の感想・問題点と改善策

- 当薬局だけでは座学になってしまう項目を細かく指導してくださったので、非常に助けとなりありがたかった。

- エリア内では、互いに不足するテーマをカバーできているので助かっている。

- 集合研修は充実していました。

- 今回の実習では、在宅訪問やクリーンルームの見学など、自薬局では対応が難しい内容について協力薬局のご支援のもと実施することができ、実習生にとって非常に貴重な経験となりました。多様な処方や患者背景に触れることができたことで、実習の質が一層高まったと感じています。一方で、在宅医療や地域活動は時期や状況によって実施が難しい場合もあるため、今後も地域を越えた協力体制の維持・強化が重要になると考えています。

- 協力薬局として基幹薬局では対応できない学校薬剤師や薬局製剤等の指導をしていただいた先生方には感謝しております。また協力薬局（グループ薬局含めて）で実習を行うことにより様々な薬剤師の先生方と話す機会がありました。進路に関してや指導薬剤師だけでは不十分な情報を伝えてもらえることができ学生にとって良い機会であったと思います。

- 他店舗の協力や集合研修で充実した実習が出来ていた様子でした。

- 自薬局でできない部分は集合研修で補っていただいているので、とてもありがたいです。学生たちの交流や情報収集の場にもなっているので、続けていただきたいと思います。

- 協力薬局（グループ薬局他店を指します）に今回も助けて貰いました。施設をやっている薬局は往診同行の見学、また精神科病院門前、病棟見学を組んでくれたり、貴重な経験をさせて貰いました。基幹薬局では学べない診療科の門前にも行ってもらいました。他店の指導薬剤師は（指導薬剤師の）有資格者、無資格者様々で指導内容は各々に任せましたが、皆、一生懸命指導してくれたと伺っています。問題点としては、自社で来れる学生に限られるということ。公共交通機関を利用する学生は、通常業務を行いながらの送迎が難しい為、基幹薬局完結型にならざるを得ないです。
- グループ薬局内で１日実習を行うことができて有意義だった。交通手段があればほかの薬局にも行けたと思う。

- 薬剤師会の集合研修にはもう少し参加させてあげられればよかったなと感じる。

- 個々の薬局ですべてを実習できることはないので、協力薬局は必要。当薬局の場合はグループ薬局で補えた。

実習生アンケート

長期実務実習　第Ⅱ期（令和7年5月19日～8月3日）　13施設13名

アンケート提出：13名

病院実習　未：13　　済：0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低　1	2	中程度　3	4	最高　5
		1		12

未記入：

②指導薬剤師から受けた指導時間いついてどうでしたか？

物足りない　1	2	中程度　3	4	充分　5
			2	11

未記入：

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
8	3	2

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた1	2	中程度　3	4	合っていた　5
		1	4	7

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入	その他
9	4		

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった　1	2	中程度　3	4	良かった　5
				13

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった　1	2	中程度　3	4	良かった　5
			4	9

⑧今回の実習が今後（在学中、卒業後）に役立つと思いますか？

役立たない　1	2	中程度　3	4	役立つ　5
			1	12

コメント部分について

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？
＜あ　り＞ 3名
・座学で学ぶものと現場で扱う知識が少し異なっていた。
・OSCE講義で学んだことは理想で現場では色々なところを省略することもあった。
・臨床の場では、講義で習った通りが絶対ではなく患者さんごとの個人差に対応する必要がある。
⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？
＜あり＞　3名
＜なし＞　7名
病院　⇒　薬局（2）　病院　⇒　病院・調剤薬局　未定　⇒　薬局
病院　⇒　病院　薬局　⇒　薬局（3）

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きします。

・この実習中に大学では経験できないことを多く経験できました。実際に薬剤師業務を体験し、患者さんと関わることで、自分の強みと弱みを知る良い機会になりました。実習先の薬局だけでなく、他の薬局や行政の薬剤師職を見学させていただくことで、将来の視野を広げることもでき、貴重な時間となりました。

・調剤や服薬指導だけでなく、在宅訪問や学校薬剤師など実習でしか体験できないことを経験したことは良かったです。

・在宅訪問や薬剤師の地域活動、学校薬剤師業務など色々なことを経験できた。耳鼻科領域以外にも在宅や施設の薬剤で幅広く疾患について学べた。

・数多くの服薬指導を通して大学では多くをならわなかったコミュニケーション力患者さんとの話し方を学べたことがとても勉強になり、多くの知識が定着しました。質問対応では自分の知識不足からうまく答えられなかったり、あいまいな回答をしてしまったりということがありました。ただ、どの部分が足りていないかを再認識できたため、良い経験になりました。

・普段の薬局実習に加えて学校薬剤師や漢方、往診同行、県庁やモバイルファーマシー見学、ドライブスルー体験など様々な経験をさせていただけた点がとても良かったです。悪い点は特に無かったのですが、患者さんにOTC説明する機会がなかったので、それを体験できたらさらに成長ができそうだと感じました。

・薬局での調剤業務・服薬指導での患者応対に限らず、学校薬剤師・在宅医療などの外部での薬剤師についても学び活躍できる場を知ることができた。これまで学んだ内容が実際の現場でどのように活用されているのかによって理解を深めるようにできた。

・多くの薬剤師の先生や助手の方、事務の方がやさしく助けてくれたおかげでとても充実した実習だった。また、集合研修により様々なことを学ぶことができ、薬剤師の役割について理解を深めることができた。ただ予定が合わず薬薬連携については行えなかったのでその点が少し心残りだった。しかし、全体的に多くの学びを得ることができた実習だったため、今回学んだことを将来に活かしていきたい。

・調剤や投薬、監査を数多く経験させて頂き、将来自分が立つであろう現場のリアルを知ることができたため、大変実りの多い実習となりました。また、薬局での業務のみでなく県や市の集合研修や学校薬剤師、モバイルファーマシーなどの多彩な薬剤師の仕事を見て体験したことが大変貴重な経験となりました。

・色々な科の患者さんと関わることができて良かった。在宅医療についてもう少し詳しく学びたかった。

・薬局内での実習を初めとし、在宅や施設にも訪問し、様々な患者さんと向き合うことができました。また、山梨県の行政機関の集合研修を通じて、あまり接する機会のなかった行政での薬剤師の働きを知る機会をいただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。

・薬局内での業務だけでなく、在宅業務（小児の在宅を含む）や学校薬剤師の業務など幅広い業務を経験させてもらいとても充実した実習になった。

・服薬指導に重点的に取り組みことができより実践的な力をつけることができた。多くの居宅訪問を経験し多職種連携の大切さを学ぶことができた。総じて様々な観点から薬剤師を知れて非常に充実した実習だった。

・服薬指導の見学や体験を通じて、患者さんに寄り添った説明や言葉選びの大切さを眞鍋田点が良かった。特に高齢者への説明では、簡潔で理解しやすい言葉を選ぶ工夫や生活背景を踏まえたアドバイスが必要であることを実感できた点が良かった。